

七転八起

才能は大抵の人が持っているけれど、
才能のあるなしじゃなくて、それを発揮する
エネルギーがあるかどうか (宮崎 駿)

第 6 号

2019年 9月 29日発行

今年の夏は梅雨が長く、夏の太陽が待ち遠しく感じました。しかし、梅雨明け後のキラキラした太陽はこれまで以上に眩しく感じられ、8月は例年の福島市の真夏の暑さが戻ってきました。

また、9月は台風の多い時期でもあります。非常に勢力の強い台風が日本列島を縦断するというニュースも毎年伝えられます。今後は、そういった天候の情報にも注意を払ってください。

さて、今月は前期期末考査、校内競技大会などの行事もあります。夏休みが明けて10日程経ちましたので、学校生活へのモードチェンジは終わっていると思います。まずは、期末考査に向けて、しっかりと授業に取り組むようにしましょう。

期末考査・前期の成績について

今月の19日(木)～25日(水)には前期期末考査が実施されます。中間考査同様に早めの準備が結果の鍵を握ります。夏休み前の学習内容もテスト範囲に入ってきますので、今のうちから復習しておきましょう。

今回は2度目の定期考査になりますが、考査終了後には、「前期の成績」が出ます。

ここではそのことについて取り上げていきたいと思います。

◎前期の成績はテストの成績だけではない！

前期の成績 = 定期考査(実習・実技含む)の成績 + 平常点

「平常点」とは…出欠状況、授業態度、レポート、作品、ノート検査等によるものです。

つまり、定期考査の点数が素晴らしいものであったとしても、出席状況が悪い、提出物も出さない、授業態度が悪いとなると大きな減点をされてしまうということです。

この平常点の点数配分については教科によってそれぞれ違いますので、確認してください。

◎課題、授業態度は今からでも挽回できる！！

「課題を出していない」「授業態度がよくない」という生徒もいるかもしれませんが、しかしながら、課題はこれから提出することもできますし、授業態度も今から改めることができます。そして、先生方はその行動を必ず評価してくれます。期末考査の前にもう一度、高校生として、今自分がするべき行動を見直してみましよう。

校内競技大会

早いもので、2020年に東京オリンピックの開催まで300日程になりました。皆さんと同年代の若い選手たちも、東京さらには、次のオリンピックに向けて日々努力を積み重ねていることでしょう。

さて、皆さんの多くが楽しみにしている、前期最後の行事が校内競技大会です。クラスごとにユニフォームを作成したり、体育の時間に各競技の練習をしたりと、着々と準備を進めていることでしょう。気合が入りすぎて「ケガをしてしまった」なんていうことのないように注意してください。

校内競技大会で対戦するクラスは、学年もコースも関係ありません。スポーツを通して汗を流すと同時に多くの人との交流を楽しむ、そんな2日間にしていましよう。

今後の予定

日付	予定
9月 19日(木)	前期期末考査(25日(水)まで)
26日(木)	校内競技大会(27日(金)まで)
30日(月)	前期終業集会
10月 1日(火)	創立記念日 衣替え
2日(水)	代休(2/29)
3日(木)	期末休業
4日(金)	後期始業式・一斉指導

保護者の皆様へ

高校入学後初めての夏休みを迎え、これまでの緊張感から解放された生徒も多かったのではないかと思います。約1か月の夏休みも終わり、1年間の学校生活の第2ラウンドがはじまりました。

私たち教員一同、夏休み明けの生徒たちの元気な姿を見て、安心しております。しかし、そろそろ学校生活にも慣れが始まるのもこの時期です。服装・頭髪・提出物、そして日々の学習、安易に楽で怠惰な方向へ進まないように学校でも指導してまいります。ご家庭でも注意深く見守っていただき、気になる点がありましたら学校までご連絡いただき情報の共有をさせていただければと考えています。

～ご連絡～

夏休み直前に配布いたしました「私学請願署名」へのご協力をお願いいたします。

1次締切は過ぎましたが、2次締切を9月中といたします。父母と教員の会より全家庭からの提出をお願いしております。

TKPコラムVol.7

「ピートの再来!？」

学年主任 末松孝治

今、メジャーリーグのチームが注目する高校生がいます。今から2年程前にアメリカのSNSに一人の野球少年の動画がアップされ、全米中から称賛の声が上がりました。彼の名前は、ルークテリー。

ルークは1歳7ヶ月の時、感染症にかかり右腕が壊死し、手術により肩から先、全てを切断することを余儀なくされました。

彼の家族は、祖父と父が野球を、母は若い頃ソフトボールをしていた野球一家でした。その影響もあってなのか、ルークも「野球をやりたい」と言ったのです。それ以来、母親は「彼の右腕がないという事を考えない」と決め、ルークを励まし続けました。

こうして、母の支えを得たルークは、小学生になると野球チームに入団しました。ルークは、捕球がとても上手で、肩も強かったため、最初はセンターやライトといった外野のポジションをやっていました。しかし、ルークの実力はそれだけにとどまらず、腕の力もあり器用だった彼は、バッティングでも日に日にその能力を発揮し、試合への出場機会も増えていきました。

そんなある日、監督にやってみたいポジションを聞かれると、ルークは「キャッチャーがやりたいです」と答えたのです。しかしこの時、監督は「捕手はチームの要であり、ボールを触る回数も多いため、ルークには負担が大き過ぎる」と思ったそうです。ところが、ルークはキャッチングのみならず、チームの要としての役割を難なくこなしました。しかし、それも小学生の間だけで、中学に進学すればキャッチャーは出来ない、誰もがそう考えていました。

なぜなら、小学生の試合では盗塁は禁止されていましたが、中学に進めば盗塁があります。通常、キャッチャーは、ミットでキャッチしたボールをもう片方の手に持ち替え、素早く送球し、盗塁を阻止します。しかし、右腕を失ったルークには、ボールをキャッチし、そこから素早く送球するのは至難の業でした。

ところが、ルークは中学生になっても、キャッチャーを続けていました。なんと、キャッチしたボールを一度、放り上げ、その間にミットを外して、落ちて来たボールを掴み、投げて盗塁を阻止していたのです。

実はルークは、10歳の時にこの送球方法を思いついたのですが、実際にやってみると非常に難易度が高く、全く成功しませんでした。それでも諦めることなく練習を重ね、4年の月日を経て、この方法を遂に完成させたのでした。その非凡なアイデアと決して諦めない心で、人々を驚かせる奇跡を起こしたのです。

そして、中学生の時に行われた、テネシー州マーシャル郡の地区大会では、3番キャッチャーとして出場し、打者として成績を残しただけではなく、キャッチャーとしても、あの神業プレーで、何度も盗塁を防ぐことに成功しました。ルークの大車輪の活躍により、チームは勝ち続け、地区優勝を果たしたのです。

さらに、その年ルークは、マーシャル郡にある中学・高校のオールスターメンバーに中学生ながら選出され、テネシー州の大会に出場し、首位打者を獲得するほどの活躍を見せました。その翌年も、高校生として、郡のオールスターメンバーに選出され、州大会の予選で大活躍をとげ、その勢いは決勝トーナメントでも止まらず、ついにチームはテネシー州の頂点に立ちました。

ある時、ルークの評判を聞きつけた全米3大ネットワークの1つNBCが、彼を特集した番組を放送し、たくさんの人たちがルークテリーの存在を知ることとなりました。

そして、2019年9月に高校3年生となるルークはあるテレビ局のインタビューにこう答えていました。

「まず大学に行って、プレーしたい。そこでキャリアを積んで、いつかはメジャーリーグでプレーしたい。」

「難しいからこそ、メジャーリーグに挑戦したい」と。

この言葉にルークの覚悟がありました。彼にとっては片腕がないことがメジャーリーガーになれない理由ではないのです。できることだけをやっている、それ以上の成長はありません。あえて困難に立ち向かう、ルークの覚悟と勇気に全米中が励まされたのでした。

今の皆さんには、もっともっとできることがあるはずですよ。あなたは、その両腕を何のために使いますか。

